

18 国立京都国際会館施設の拡充・整備促進について

(財務省・国土交通省)

国立京都国際会館は、昭和 41 年に我が国最初の国際会議場として設置されて以来、日本を代表する会議場として、数多くの国際会議の成功を支えとともに、歴史都市・京都の世界への発信拠点として、また京都の文化力の更なる向上や国際交流の推進、魅力ある観光の創造などに大きく貢献してきました。

しかしながら、開館から 40 年を経た現在、国際会議の規模の大型化・多様化の傾向が顕著であり、会議を開催するに当たっては、大型会議場、ワーキングスペース及び展示・広報等のスペースを備えた施設であることが求められております。

国内外の会議場とのコンベンション誘致競争が激化する中であって、国内、また世界各国の国際会議場では、こうした会議の大型化・多様化に対応できる施設が整備されている一方で、当会館の現在の施設規模は、国際会議を開催する施設としては十分であるとは言えない状況にあります。

このため、より積極的な国際会議の誘致、開催を可能とする、我が国を代表するコンベンション都市・京都にふさわしい施設の拡充・整備を要望します。

要望事項

我が国を代表する国際会議場である国立京都国際会館において、より大規模な国際会議の誘致、開催を可能とする、4,000 人規模の大型会議場や展示場として活用できる多目的ホールの整備

主な要望先：財務省（理財局国有財産業務課） 国土交通省（大臣官房官庁営繕部計画課）
京都市の担当課：総務局 総務部 総務課長 辻智之 TEL 075-222-3043

<参考>

1 国立京都国際会館の概要

所 在 地	京都市左京区宝ヶ池
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造
規 模	敷地面積 156,096 m ² 延べ床面積 46,743 m ²
開 館	昭和 41 年 5 月 21 日
主 な 施 設	(1) 会議場 約 3,500 名 (大会議場 1,840 名) (2) 展示場 3,000 m ²

2 施設整備計画（会議場施設）の概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 3 階 地下 1 階
建 築 面 積	6,266 m ²
延 べ 床 面 積	11,354 m ²
主 な 施 設	多目的ホール（大型会議場（最大約 4,000 名収容）、展示場（2,800 m ² ）、 中型会議場（約 600 名×2 室））
総 事 業 費	13,891 百万円
完 成 予 定	平成 22 年度

3 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場収容人数
日本	国立京都国際会館	1,840
日本	国立横浜会議場（パンフィコ横浜）	5,000
日本	東京国際フォーラム	5,000
日本	大阪国際会議場	2,754
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500
イギリス	アールズコートアンドオリンピック	22,000
カナダ	モントリオール会議センター	4,000
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008
フランス	パリ国際会議場	3,700
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	10,000
中国	ホンコン会議・展示センター	8,400
韓国	チェジュ国際会議センター	3,500
オーストラリア	メルボルン展示・会議センター	5,000